

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年版画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	版画概論	天野純治	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し、様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を拓けることを目標とします。			
【講義概要】			
現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い、現代版表現を考える。自身の作品をより理解し、制作の可能性を拓けることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業説明(版表現について)作品鑑賞		
2	作品鑑賞		
3	作品鑑賞		
4	作品鑑賞		
5	作品プレゼンテーション		
6	作品鑑賞		
7	作品鑑賞		
8	作品鑑賞		
9	作品鑑賞		
10	作品鑑賞		
11	作品プレゼンテーション		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1949年鳥取県生まれ。多摩美術大学大学院修了。第45回版画展版画協会賞、毎日現代日本美術展東京都現代美術館賞、World Print Competition最高賞。山口源大賞。元多摩美術大学客員教授。日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年版画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	版画講座	今井圭介	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>版画の歴史や世界、様々な技法と表現との関わりなどを学んで版画をより深く理解し、制作等に活かすことができる素地を身につける。</p>			
【講義概要】			
<p>日本の伝統木版画の浮世絵はよく知られた版画ですが、日頃使っている紙幣の肖像画が見事な銅版画であるという事はあまり意識されていないでしょう。この講義ではこうした実は身近に存在する版画にも目を向けながら資料や画像、実物を交えて版画について学びます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	版画よもやま話（版画の世界、用語、材料、紙等）		
2	版画の技法（木版画・銅版画）		
3	版画の技法（石版画・スクリーンプリント）		
4	浮世絵版画のはじまり		
5	浮世絵版画の世界と制作システム		
6	日本で初めて腐蝕銅版画を制作した人物は		
7	好奇心を満たせ！横浜絵から開化絵まで		
8	最後の浮世絵師・小林清親とは		
9	日本の近代版画は「版画」ではなく「創作版画」		
10	版画誌『月映』とは		
11	飛躍する現代版画と東京国際版画ビエンナーレ		
12	時代の寵児と呼ばれた版画家・池田満寿夫		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p><u>1959年新潟県生まれ。東京藝術大学卒業。町田市立国際版画美術館学芸員を経て町田市立博物館副館長（2012-2020年）。版画家・吉田穂高、小野忠重、博物画家・小林重三などの展覧会を企画・実施。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2022年度	2年版画専攻・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	フランス語II	内田 雅樹	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
フランス語1の修了者を対象として、一年次に習得した基礎力を基盤としながら会話表現・文法の両面での知識を広げていきます。また、少しずつ書かれたものを読む練習も行います。			
【講義概要】			
前期は、まず問題練習などを通じて、書くという別観点を少し意識しながら昨年の復習を行います。その後複合過去、単純未来へと文法面で次のステップへと移っていきます。後期は、フランス旅行の機会を想定して、オリジナルのフランス旅行のしおりを作成していく課題が課され、校内展示の機会を設けます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	会話と演習
2	会話と文法	18	会話と演習
3	会話と文法	19	会話と演習
4	会話と文法	20	会話と演習
5	会話と文法	21	会話と演習
6	会話と文法	22	会話と演習
7	会話と文法	23	会話と演習
8	会話と文法	24	会話と演習
9	会話と文法	25	会話と演習
10	会話と文法	26	後期まとめ
11	会話と文法	27	後期まとめ
12	前期まとめ	28	後期まとめ
13	前期まとめ	29	後期まとめ
14	中間試験	30	後期試験
15	会話と演習		
16	会話と演習		
【成績評価方法】			
<p>期末ごとに試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1969年福岡県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科仏文専攻修士課程修了。多摩美術大学非常勤講師。また俳優養成所を経て映画・舞台に出演、受賞作多数。朗読、吹替え、PVやアートビデオ出演の他、THEATRE茶房の冠ではプロデュース、演出を兼務。俳優術を生かした外国語習得の方法論の探求、実践に取り組む。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年版画専攻・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別講座/就職セミナー	ゲスト講師	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。</p>			
【講義概要】			
6/11(土)海外講座A、7/9(土)就職セミナーA、9/17(土)2年就職セミナー、10/15(土)同窓会講座、10/29(土)就職セミナーB、11/19(土)海外講座B、12/11(土)創形展講座、2/10(金)就職セミナー（就活ポートフォリオ）			
回	授業計画及び学習の内容		
1	海外講座A		
2	就職セミナーA		
3	2年就職セミナー		
4	同窓会講座		
5	就職セミナーB		
6	海外講座B		
7	創形展講座		
8	就職セミナー（就活ポートフォリオ）		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とする。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部（3年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語	蔣 燕萍	3単位 69時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1対策：N1の試験に合格できる力をつける。 ②語彙力の向上</p>			
【講義概要】			
<p>・言語知識、読解、聴解の実戦練習。 ・模擬試験。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	試験
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	模擬試験		
15	講義		
16	講義		
17	講義		
18	講義		
19	講義		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	シルクスクリーン	東樋口徹	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>シルクスクリーン版画制作を通して孔版画の専門的知識を習得し、自己表現に結びつくよう学習します。基本の直接製版方法を重ねて実習し環境にやさしい水性インクを使用し刷紙に刷ります。PCを使用した4色分解による4版4色の作品（18×25cm位）を1点、5版以上を使った作品（25×38cm位）を1点制作、色を刷り重ねる時の表現効果、用具資材の正しい使い方、手順を覚え多彩な効果を会得していきます。</p>			
【講義概要】			
<p>基本的な水性インクで紙に刷る4版4色を使った作品（A4/21cm×29.7cm）を一点（紙4枚程度）、5版以上を使った作品（A3/29.7cm×42cm）を一点（紙8枚程度）制作。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・技法説明		
2	技法説明（PCを使用した4色分解）		
3	製版説明		
4	刷り方説明		
5	制作		
6	色々な刷り方説明		
7	制作		
8	制作チェック		
9	制作		
10	制作		
11	制作チェック		
12	制作		
13	制作チェック		
14	制作		
15	制作		
16	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007買上賞（三極）、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL 優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。（社）日本版画協会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	現代美術演習A	山本 晶	1単位 27時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
多様化する美術表現を体験し、表現の可能性の幅、及び表現は唯一ではなく複数であることを発見する。			
【講義概要】			
発想から表現へ、どのようなアプローチをすればいいのかを実践を通じて探ります。個人の視点がどのように表現方法につながるのか。個人の内側にある発想が公共空間に置かれた時にどのように映るのか。演習を通して体験します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	演習I：自己と表現		
3	演習I：他者の考え		
4	演習II：身体		
5	演習III：色について		
6	演習IV：描く／描かれるもの		
7	演習V：破壊と再構成の自画像		
8	演習VI：mapping		
9	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 武蔵野美術大学大学院修了、文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシップ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展 ギャラリーアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	銅版画	馬場知子	3単位 66時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>銅版画の制作プロセスを修得し、作品を完成させます。銅版画には様々な技法がありますが、エッチングを中心に物質の変容と結びついた腐食技法の多様な表現に触れます。版を媒介することで生じる他者性を柔軟に取り入れながら自分の表現の世界を広げましょう。</p>			
【講義概要】			
<p>まずテストプレートで様々なマチエール表現を試しながら「道具、薬品の使い方」「描画」「製版」「刷り」の作業工程を理解し体得していきます。本作では自分のイメージの具現化に必要な表現や技法を選択し制作します。 (わからないことはなんでも聞いてください。安全に楽しく制作しましょう)</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	制作
2	実演／講義／テストプレート制作	18	試作チェック
3	実演／講義／テストプレート制作	19	制作
4	制作／エスキースチェック	20	制作
5	制作	21	本刷り
6	制作	22	講評会
7	制作		
8	制作チェック		
9	制作		
10	試作チェック		
11	制作		
12	実演／講義		
13	制作		
14	試作チェック		
15	制作		
16	試作チェック		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p><u>1991年女子美術大学芸術学部絵画科版画専攻卒業。1992年同大学研究生修了。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。日本版画協会展(畦地梅太郎賞)、Trois-Riviere国際現代版画ビエンナーレ、文化庁現代美術選抜展、文化庁買上優秀美術作品披露展、高知国際版画トリエンナーレ(優秀賞)、(社)日本版画協会会員。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	リトグラフ	中村真理	3単位 91時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
講義、実習を通してリトグラフの製版方法や刷りの行程を学び理解を深め、リトグラフの特性を活かした制作を行う。			
【講義概要】			
リトグラフの特性を利用し、個々の表現したいテーマに基づき制作する。4版種の中でリトグラフの版作りは彫るのではなく「描く」という行為に最も近い版、ドローイングの様に手を動かして版づくりを行い自分自身で体験しながらリトグラフの仕組みを学んでいく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、下絵制作	17	製版、刷り
2	描画の進め方、見当の説明、製版のデモ	18	製版、刷り
3	刷りのデモ、版の準備	19	製版、刷り
4	描画	20	製版、刷り
5	描画	21	製版、刷り
6	描画	22	製版、刷り
7	描画	23	製版、刷り
8	描画	24	製版、刷り
9	紙の準備（いづみ）	25	製版、刷り
10	白黒1版の製版（全員）	26	製版、刷り
11	白黒1版刷り（全員）、片付け、鑑賞、	27	講評会
12	描画		
13	描画		
14	描画		
15	描画		
16	ベタ版のデモ、描画		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1988年埼玉県生まれ。武蔵野美術大学大学院版画コース修了。2013年日本版画協会第81回版画展山口源新人賞、第39回全国大学版画展取蔵賞、2015年武蔵野美術大学卒業・修了制作展優秀賞、第87回版画展準会員優秀賞（社）日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	現代美術演習B	黒瀬陽平	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
カリキュラム全体を通して各自が制作テーマ、モチーフを発見し、自分なりの制作プロセスを組み立て、作品を完成させることを目標とします。講義では、個別の作品分析、事例分析を中心に進めますが、学生からの質問やリクエストに応じて内容は変化します。			
【講義概要】			
現代美術への理解を深め、作品制作を進めてゆくために、講義と課題制作、セッション（課題作品についてのプレゼン、ディスカッション）、講評会を組み合わせたカリキュラムを組んでいます。課題制作とセッションを繰り返すことで、学生ひとりひとりの制作プロセスにコミットし、議論を積み重ねながら作品制作を進めてゆきます。講義では狭義の現代美術に限らず、サブカルチャーも含めた他ジャンル、他メディアの作品を数多く扱います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション+講義①②		
2	課題1セッション		
3	講義③④		
4	課題2セッション（中間講評会）		
5	課題3セッション		
6	講義⑤⑥		
7	課題4セッション		
8	最終講義+総評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1983年生まれ。美術家。東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻博士後期課程修了。博士（美術）。アーティストグループ『カオス*ラウンジ』を結成し、展覧会やイベント等をキュレーション。キュレーション作品に『市街劇 百五〇年の孤独』（2017年）など。著書に『情報社会の情念』（NHK出版、2013年）。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	木版画	鈴木吐志哉	2単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
1年次の「専攻別ワークショップ（版画専攻）」で体験した水性木版画1版単色をこの授業ではさらに多色木版画に展開していくことで、木版画技法の充実と色彩について研究します。水性多色木版画の技法は浮世絵に見られるように日本独自の進化を遂げた技法でもあります。古来からの技法と現代の技法を駆使して自由な発想で制作してもらいます。・版木サイズ300×225mm（4～5版多色）			
【講義概要】			
水性多色木版画の作品の制作および基本技術と技法の展開。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	制作準備～制作エスキース	17	様々な摺り 一摺り方による作品の展開一
2	コラグラフの制作（素材を考える）	18	彫版～本摺り
3	コラグラフの制作	19	彫版～本摺り
4	コラグラフの制作	20	制作～講評
5	コラグラフの刷り（木版画への応用）		
6	木版画について		
7	木版画下図準備		
8	トレースについて		
9	様々な彫り（コラグラフを参考に）		
10	彫版		
11	彫版		
12	様々な摺り 一摺り方による効果一		
13	彫版～試摺り		
14	和紙の話、彫版～試摺り		
15	彫版～試摺り		
16	彫版～試摺り		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめぎ、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	技法と表現A	鈴木吐志哉 東樋口徹 中村真理 馬場知子	2単位 75時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
基本4版種から各自が選択した技法による制作。			
【講義概要】			
<p>前期に行った版画基本4版種（シルクスクリーン、銅版画、リトグラフ、木版画）から各自で技法を選択し、画材の購入の仕方、取り扱い等を学びながら自由に制作してもらいます。</p> <p>・作品サイズに指定は特にないが、小作品で数多く刷りの経験を重ねる事を推奨する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	描画、製版、刷り
2	描画	18	描画、製版、刷り、中間講評
3	描画	19	描画、製版、試刷り
4	描画	20	描画、製版、試刷り
5	描画	21	描画、製版、試刷り
6	描画、製版	22	描画、製版、試刷り
7	描画、製版	23	本刷り
8	描画、製版、刷り	24	本刷り
9	描画、製版、刷り	25	講評会
10	2版目以降の描画開始、製版、刷り		
11	描画、製版、刷り		
12	描画、製版、刷り		
13	描画、製版、刷り		
14	描画、製版、刷り		
15	描画、製版、1版目の刷り全員終了する		
16	描画、製版、刷り		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>鈴木 吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他。（社）日本版画協会会員、版画学会会員。</p> <p>東樋口 徹：1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本豊版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007買上賞（三極）、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL 優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。（社）日本版画協会会員。</p> <p>中村 真理：1988年埼玉県生まれ。武蔵野美術大学大学院版画コース修了。2013年日本版画協会第81回版画展山口源新人賞、第39回全国大学版画展収蔵賞、2015年武蔵野美術大学卒業・修了制作展優秀賞、第87回版画展準会員優秀賞（社）日本版画協会会員。</p> <p>馬場 知子：1991年女子美術大学芸術学部絵画科版画専攻卒業。1992年同大学研究生修了。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。日本版画協会展（駐地梅太郎賞）、Trois-Riviere国際現代版画ビエンナーレ、文化庁現代美術選抜展、文化庁買上優秀美術作品披露展、高知国際版画トリエンナーレ（優秀賞）、（社）日本版画協会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期／後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	製本実習	山口茉莉	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
簡易なノート制作と、自分だけの上製本を制作します。			
【講義概要】			
本の造り、紙の持つ性質を学び、実際に製本する過程を通して「本」そのものの価値を考えます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	概要説明/（ノート作成）		
2	上製本制作（本文を綴る）		
3	上製本制作（布の裏打ち）		
4	上製本制作（仕上げ）		
5	簡易製本（イラスト制作）		
6	簡易製本（綴じる）		
7	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 <u>2006年女子美術大学芸術学部絵画学科卒業。2008年同大学院研究領域版画修了。2015年英国JADE BOOKBINDING STUDIOにて研修。近年は「空想建築」を主題として平版画、陶、製本の技術を生かしたミクストメディア作品等を制作発表している。（社）日本版画協会準会員。</u>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	石版画	板津 悟	1単位 63時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
講義、実習を通して石版画の歴史や技術を学び、平版の仕組みを体感しながら石版石の特徴を活かした制作を行う。			
【講義概要】			
石版石を版材として使える様な状態にするまでの作業工程も含めて、素材との対話を大切にしながら個々の表現を考える。作品はモノトーンとし、一つ一つの行程を把握する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、研磨	17	描画
2	描画	18	製版、刷り
3	描画	19	描画
4	描画	20	描画
5	描画指導	21	講評会
6	描画		
7	描画		
8	描画		
9	描画		
10	描画指導		
11	描画		
12	描画		
13	製版、刷り		
14	描画		
15	製版、刷り		
16	描画		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1958年岐阜県生まれ。21歳で渡米、シアトルの大学で絵を学び、後にプリンターへ転向。リトグラフのプリンター養成工房としてはアメリカ随一と言われていた。タマリンド石版画研究所に入る。その後日本に帰国、1987年にイタヅ・リトグラフィック (Itazu Litho-Grafik) を設立。国内外の作家と共同により多くの作品を制作。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	写真と美術	松蔭浩之	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>写真の成り立ちから、構図や光の捉え方などを享受しつつ、「写真とはなにか？」を考察し、絵画制作に活用することを目標にする。</p>			
【講義概要】			
<p>歴代写真家の作品を紹介し、読み解きながらの座学と、デジタルカメラの扱い方を指導しつつ、ワークショップ形式で制作を重ねる。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	写真の誕生／カメラの仕組み		
2	私の写真論1／カルティエ・ブレッソンを「読む」		
3	デジタルカメラ入門1		
4	私の写真論2／WS「モノクロ・ユニバース」		
5	デジタルカメラ入門2		
6	セルフポートレート実践／森村泰昌		
7	セルフポートレート実践／WS 講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1965年福岡県生まれ。1988年大阪芸術大学写真学科卒業。現代美術家。写真、グラフィック、空間デザインなど多岐にわたって活動。ヴェネツィアビエンナーレ、シンガポールビエンナーレ出展。『昭和40年会』会長。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ドローイングA	鈴木吐志哉	1単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>版画制作から離れ、ドローイング制作に集中する時間とする。版画の技法に制約されることなく、様々な支持体や素材を試す事で多角的に各自の表現を研究する。さらに「らくがき」等を通して描く喜びを再認識してもらいます。</p>			
【講義概要】			
<p>サイズ・支持体・素材・枚数・他。各自の判断で選択して制作。版表現から一旦離れ、自由な表現を繰り返す中から自分の作品について考える時間とする。また、期間中に屋上にて「らくがきドローイング」を行います。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス・作家紹介		
2	制作		
3	屋上落書きドローイング		
4	制作		
5	制作		
6	ディスカッション1		
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	ディスカッション2		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめぎ、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科屋間部（3年制）	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	木口木版画	長島 充	1.5単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
彫っては摺るという繰り返しによるこの技法のシンプルなプロセスと、ビュランを使って細密に彫れるという板目木版画とは異なる木口木版画ならではの表現を制作を通して学んでいく。			
【講義概要】			
『掌の命・てのひらのいのち』（命ということを広義にとらえる）という課題テーマでモノクロームの木口木版画を1点制作してもらおう。小さなサイズでも大作に負けない高い完成度、密度を得られる版表現を体験する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、木口木版画の説明		
2	木口木版画の制作の準備		
3	ビュランの研ぎ方		
4	版木への下絵の転写の方法		
5	参考作品の鑑賞		
6	木口木版画の制作のプロセスの説明		
7	彫り		
8	彫り		
9	彫り、試し摺り（雁皮摺り、直摺りの検証）		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	制作指導		
14	制作		
15	制作		
16	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1959年千葉県生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。1984年～日本版画協会展出品（以後毎年）、R.O.C.国際版画・素描ビエンナーレ版画部門銀賞、カプラム国際版画ビエンナーレ名誉メダル賞、日本版画協会展進会員賞、イビザ国際版画ビエンナーレ最高賞、環太平洋国際版画展2011特別賞受賞。その他国際版画展、美術館企画展多数出品。（社）日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	銅版直刻	長島 充	1単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ドライポイントを始め、銅版直刻法による制作。様々な工具による線刻の表現や黒インクの刷りの表現方法の現れ方の違いを学習し、ダイレクトに版を彫っていくこの技法ならではの特徴を体験する。</p>			
【講義概要】			
<p>銅版画の中で、腐食を用いず直接的に版を彫っていくドライポイント技法を中心とした直刻法によりモノクローム銅版画を1点(30×36.5cm)制作する。課題のテーマは「人間像」。銅の板を直接彫っていく緊張感を体験してもらう。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス・下絵トレース～彫版		
2	描画		
3	描画		
4	描画		
5	試し刷り～彫版指導		
6	描画		
7	描画		
8	描画		
9	彫版指導～印刷説明		
10	彫版		
11	本刷り指導		
12	刷り		
13	刷り		
14	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1959年千葉県生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。1984年～日本版画協会展出品(以後毎年)、R.O.C.国際版画・素描ビエンナーレ版画部門銀賞、カブラム国際版画ビエンナーレ名誉メダル賞、日本版画協会展準会員賞、イビザ国際版画ビエンナーレ最高賞、環太平洋国際版画展2011特別賞受賞。その他国際版画展、美術館企画展多数出品。(社)日本版画協会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	製本実習	山口茉莉	1単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
ボックスの制作方法を学び、自作の新たな展開を目指します。			
【講義概要】			
製本実習で学んだ紙の知識をより深めながら、ボックスを用いた自己の表現の可能性を探ります。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	制作指導
2	制作指導	18	制作
3	制作	19	制作
4	制作	20	講評会
5	制作		
6	制作指導		
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	制作指導		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	制作指導		
15	制作		
16	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 <u>2006年女子美術大学芸術学部絵画学科卒業。2008年同大学院研究領域版画修了。2015年英国JADE BOOKBINDING STUDIOにて研修。近年は「空想建築」を主題として平版画、陶、製本の技術を生かしたミクストメディア作品等を制作発表している。（社）日本版画協会準会員。</u>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ドローイングB	鈴木吐志哉	1単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>「ドローイングA」同様に自由なドローイング制作に集中する時間とする。ただし、今回は各自の版表現へどのように展開できるかも同時に検証する。</p>			
【講義概要】			
<p>サイズ・支持体・素材・枚数・他。各自の判断で選択して制作。1000×700mm程度の大作が望ましい。作品の展示額装及びパネル制作についてのデモンストレーション。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス・制作開始	17	制作
2	制作	18	制作
3	制作	19	制作
4	額装、展示についてデモンストレーション	20	講評
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	ミニ講評会（各自でディスカッション）		
9	制作		
10	制作		
11	パネル制作についてのデモンストレーション		
12	制作		
13	制作		
14	中間講評		
15	制作		
16	制作		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p><u>1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	先端メディア	八幡純和	1単位 12時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
VRという技術とそこに連動して様々な新しい魅力を展開しているサービスへの理解。また先端技術を応用した作品制作への展開。			
【講義概要】			
ゲームやファッションの世界だけでなく現代の様々なカルチャーやサービス、イベントなどと連動して発展している「VR（バーチャルリアリティ）」の世界。そのVRの仕組みと特性を理解しながらバーチャル空間ならではの作品制作を個々に試みます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	企画・演出		
3	企画・演出		
4	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 <u>携帯キャリア公式コンテンツ配信プラットフォームやアプリストアなど、主に大規模システムの開発・運用に携わる。2015年 Psychic VR Lab 設立に参画。三越伊勢丹やパルコ、ファッションブランドとVRを活用した様々な企画・製作を手掛ける。2018年パルコらと共に様々なクリエイター/アーティストとVR/MRを使って超体験をデザインするプロジェクト NEWVIEW をスタート。</u>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	技法と表現B・インターンシップ	鈴木吐志哉 東樋口徹 中村真理 馬場知子	7単位 180時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
2年生の期間に学習した技法を駆使し、各自自由に版種を選択しての制作。エスキース等も含め各自の方向性を探り、研究する時間とする。			
【講義概要】			
作品サイズ指定なし。各自の自由とする。2作品以上を制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス	36	作品制作
2	作品制作	37	作品制作
3	作品制作	38	作品制作
4	作品制作	39	制作指導
5	作品制作	40	作品制作
6	制作指導	41	作品制作
7	作品制作	42	作品制作
8	作品制作	43	制作指導
9	作品制作	44	作品制作
10	制作指導	45	作品制作
11	作品制作	46	作品制作
12	作品制作	47	中間講評
13	作品制作	48	作品制作
14	制作指導	49	作品制作
15	作品制作	50	制作指導
16	作品制作	51	作品制作
17	制作指導	52	作品制作
18	作品制作	53	作品制作
19	作品制作	54	作品制作
20	作品制作	55	制作指導
21	1点目講評	56	作品制作
22	作品制作	57	作品制作
23	作品制作	58	作品制作
24	作品制作	59	作品制作
25	制作指導	60	連作作品講評
26	作品制作		
27	作品制作		
28	作品制作		
29	制作指導		
30	作品制作		
31	作品制作		
32	作品制作		
33	制作指導		
34	作品制作		
35	作品制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 鈴木 吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（准会員佳作）。飛騨高山現代版画ビエンナーレ（大賞）。SUIVREMENA JAPANSKA GRAFIKA 国際版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員、版画学会会員。 東樋口 徹：1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007賞上賞（三権）、2009年The 2nd NBC MESHITEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL 優秀賞、2015アワガミ国際ミニプリント展大賞、(社)日本版画協会会員。 中村 真理：1988年埼玉県生まれ。武蔵野美術大学大学院版画コース修了。2013年日本版画協会第81回版画展山口源新人賞、第39回全国大学版画展収蔵賞、2015年武蔵野美術大学卒業・修了制作展優秀賞、第87回版画展准会員優秀賞(社)日本版画協会会員。 馬場 知子：1991年女子美術大学芸術学部絵画科版画専攻卒業。1992年同大学研究生修了。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。日本版画協会展(畦地梅太郎賞)、Trois-Riviere国際現代版画ビエンナーレ、文化庁現代美術選抜展、文化庁賞上優秀美術作品披露展、高知国際版画トリエンナーレ(優秀賞)、(社)日本版画協会会員。			